OWL-PCOX22 シリーズ　PCケース取扱説明書

　この度は弊社製品をご購入いただき、誠に有り難うございます。本製品を正しくお使い頂くために本取扱説明書を必ずご一読下さい。また付属しています保証書は、販売店より日付と販売店舗の記入及び押印を頂くか、購入が証明できるようレシートなどと一緒にして大切に保管して下さい。

１．警告・注意事項

✧ ケース内には尖った部分や鋭利な部分があります。手袋着用などで身体の保護を図ってください。
✧ 配線の間違いや、線を金具などで挟みますとショート事故となり、火災の発生原因になる場合があります。
✧ 電子部品は静電気に大変弱い部品です。作業を行う前に必ずアースを取るなどして静電気対策を行ってから作業を実施して下さい。
✧ 本製品の5.25”ベイは扉付のため、パネル面より出っ張る構造の機器は、取付けができない場合があります。5.25”機器をお求めの際は、取付け可能かをご確認の上お求めください。
✧ 各機器をネジ止めするネジは、マザーボードを除き、基本的には各機器付属のネジをお使い下さい。
✧ 本説明書ではハードディスクドライブを「HDD」フロッピーディスクドライブを「FDD」長さの単位インチを「”」と表現しています。同様にその他の部品などでも略号や通称を使用しています。

２．付属品

【注意】★付属品に関しましては生産時期やロットにより変わる場合が有りますので、予めご了承下さい。
　　　　また、製品の改善のため形状や取付け方法が変更になる場合が有りますのでご注意下さい。

３．各部の名称

本体左側面

正面板

電源ユニット
取付け位置

5.25"ベイ

マスクプレート

3.5"FDD ベイ

3.5"HDD ブラケット
固定ネジ

3.5"HDD ブラケット

12 cm吸気ファン
取付け位置

背面板

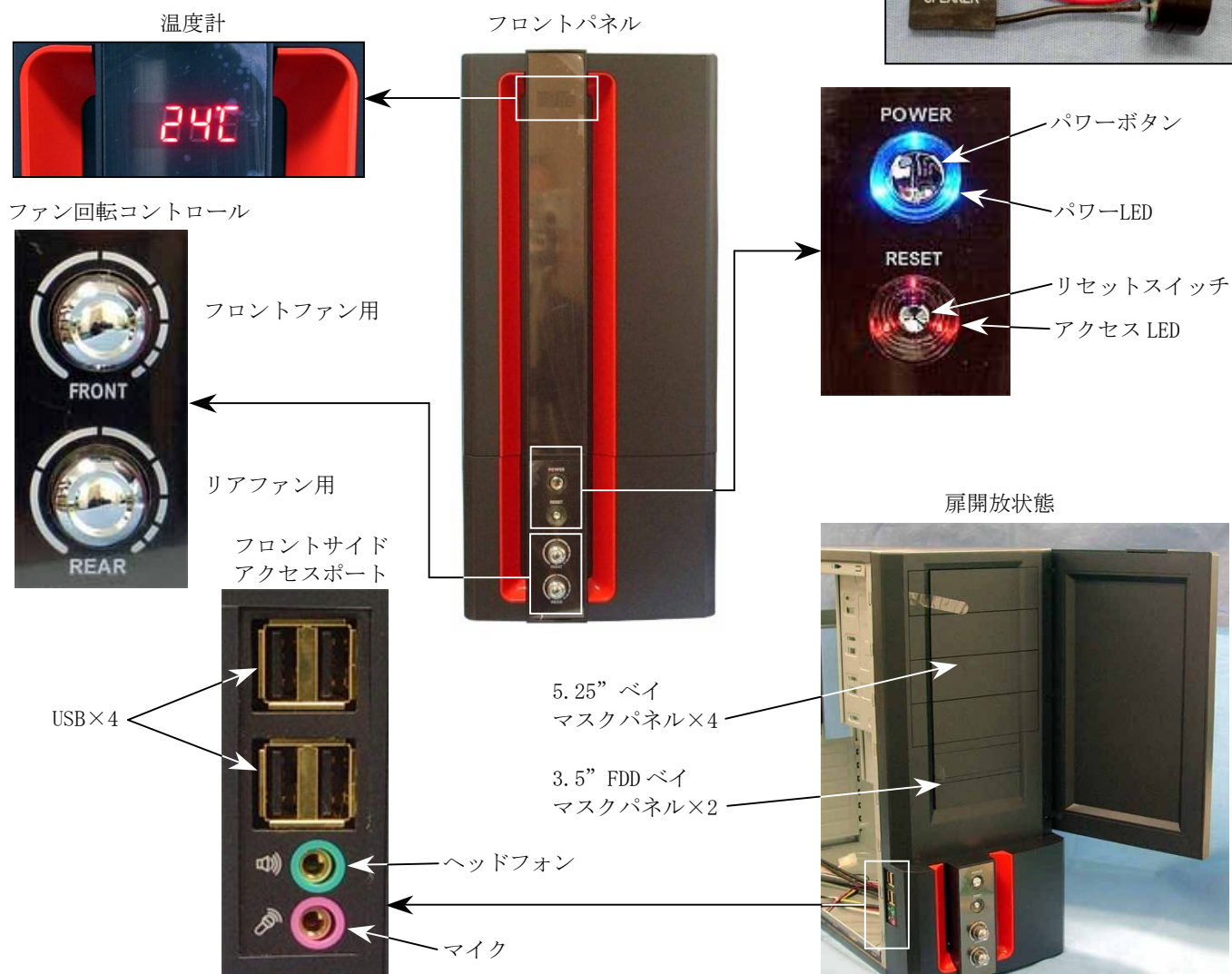
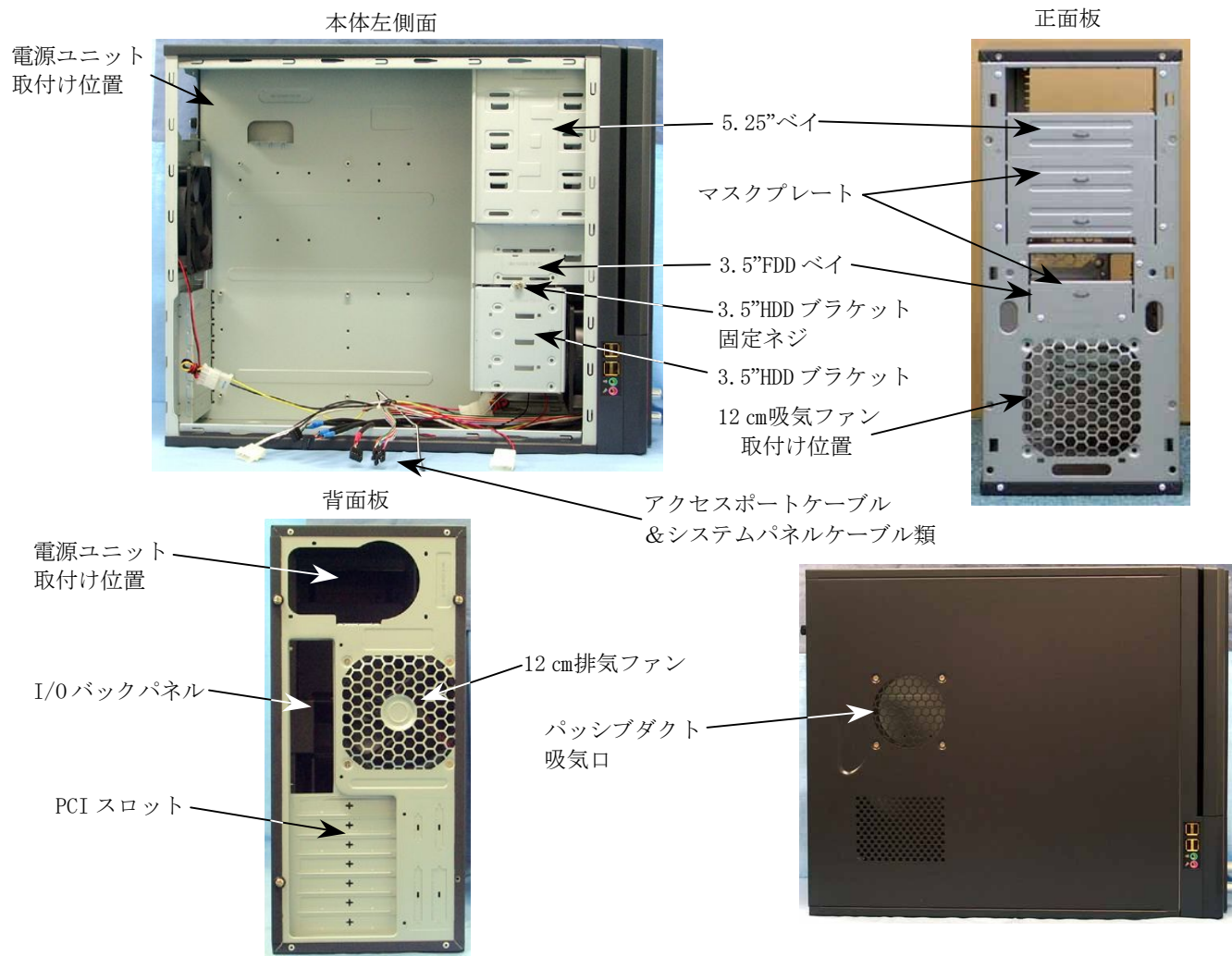
アクセスポートケーブル
＆システムパネルケーブル類

電源ユニット
取付け位置

I/O バックパネル

12 cm排気ファン

パッシブダクト
吸気口

PCI スロット

４．サイドパネルの取外し方

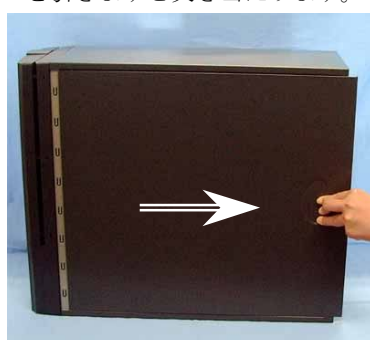
本製品は両サイドパネル共、指で回せるサムスクリュー（ローレットネジ）固定になっております。

【注意】★サイドパネルを取り外す場合、パネルに付いているツメを変形させないようにご注意下さい。
★本製品にドライブ類を組込む場合、ネジ止めのため両側のサイドパネルを外す必要があります。

①左サイドパネル後方2カ所のローレットネジを取外します。

②背面側に1cmほどサイドパネルを引きますと突き当たります。

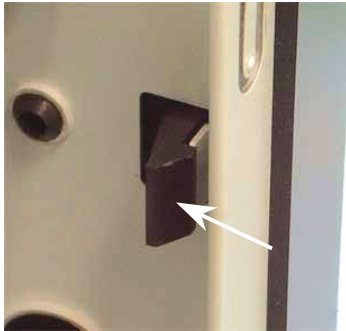
③パネルを取外し、横に置きます。

④右サイドパネル後方２箇所のローレットネジを取外します。

⑤背面側に 1 cmほどサイドパネルを引きますと突き当たります。

⑥パネルを取外し、横に置きます。

５．フロントパネルの取外し方

本製品にドライブ類を組込む場合や、前面の吸気ファンを増設する場合はフロントパネルを取外す必要が有ります。フロントパネルの取外しには両側のサイドパネルを外す必要があります。フロントアクセスポート接続ケーブル／システムパネルケーブルが接続されておりますので取り扱いには十分ご注意下さい。

【注意】★爪で固く固定されているため、取外し難くなっておりますのでご注意下さい。
★パネルの取外し時、ケーブル類を引っ張ると、断線や破損の可能性が有ります。

①パネルの裏側の、左右計6箇所ある爪を、パネルを引きながら順次内側に押し、外します。

②ケーブ通し穴からケーブルを引出しながら、パネルを外します。

③ケーブル類に注意しながらパネルを置きます。

６．3.5”FDDの取付け方

本製品には3.5”FDDを装備出来るベイが2ベイ装備されております。FDDを取付ける場合、まずフロントパネルを外し、該当箇所のマスクパネルとマスクプレートを取り外す必要があります。

①FDDを取付ける位置のマスクパネルの固定爪を内側に押し、外します。

②マスクプレートにマイナスドライバーを差込み前後にねじりながら外します。

③フロントパネルを取付けます。

④正面よりFDDを水平に挿入します。

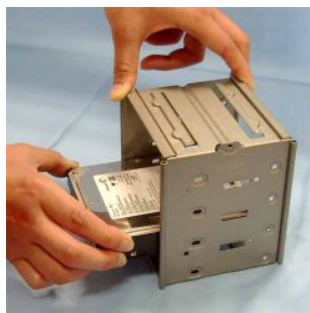
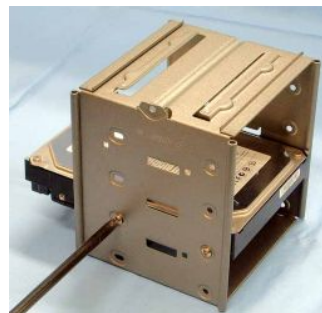
⑤パネルと平面になった所で止めます。

⑥左右計4箇所を、FDD付属のネジで固定します。

７．3.5”HDDの取付け方

本製品では3.5”FDDベイの下部に3.5”HDD4台分のブラケットが用意されています。

【注意】★HDDを取付ける前にドライブのマスター/スレーブの設定（SATAは無用）を必ず行って下さい。
★HDDは精密製品ですので静電気対策及び振動・衝撃等を与えないように十分ご注意下さい。

①HDDブラケット固定ネジを外し、ブラケットを手前に引いて外します。

②HDDを希望のベイに水平に挿入します。

③片側2カ所、左右合計で4カ所をHDD付属のネジで固定します。

④ブラケットを外した時と逆の手順で組込み、ネジで固定します。

８．5.25”ドライブの取付け方

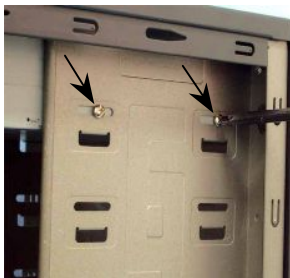
本製品の扉付5.25”ベイは、扉が付いている関係上、パネルより出っ張る構造の機器の取付けができない場合があります、5.25”機器を組込む前に、扉に当たらない事の確認をお願いします。

【注意】★5.25“機器（光学ドライブなど）取付け前にフロントパネルの取外し、該当部分のマスクパネル及びマスクプレートの取外しを行って下さい。

①該当箇所のマスクパネルの爪を内側に押し、外します。

②該当箇所のマスクプレートを外します。

③5.25”機器を水平に挿入します。

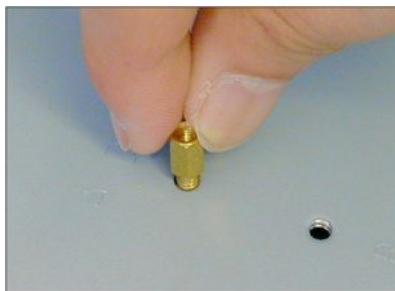
④5.25”機器がパネルと平面になった所で止めます。

⑤片側2カ所、左右合計で4カ所固定します。

＊シャーシに付属のマスクプレートを取り外す場合はードライバーで前後にねじるようにして取外して下さい。
＊光学ドライブを取付ける場合、ドライブの「マスター／スレーブ」設定を必ず行って下さい。

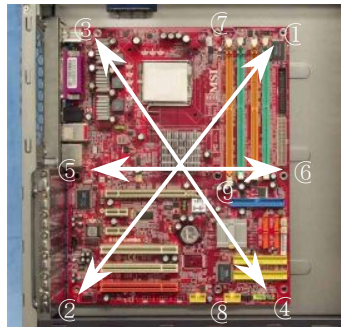
９．マザーボードの取付け

本製品ではATXサイズ（305×244）迄のマザーボードを搭載することが出来ます。取付けに関しては付属の六角スタッドを使用して取付けます。また、製品には絶縁ワッシャーが付属しておりますが使用に関してはマザーボードのマニュアルを参照して下さい。

【注意】★マザーボードやアドオンカードを扱う場合、静電気対策を十分に行ってから実施して下さい。
★不必要な部分に六角スタッドは絶対に取付けないで下さい。ショート事故等を招き、マザーボードに重大な障害を起こし、火災などの原因となる可能性が有ります。

①マザーボード付属のI/Oバックパネルを取付けます。

②マザーボードの固定穴に合わせて六角スタッドを取付けます。

③I/Oバックパネルにコネクタ類を合わせながらマザーボードを入れます。

④付属のインチネジを固定するネジ穴全てに入れます。（ここでは締付けしない）

⑤ネジの締め付けは、対角線上の順番で締めていきます。

⑥I/Oバックパネルに正しく各種コネクタが　出ていることを確認します。

１０．システムスイッチケーブルに関して

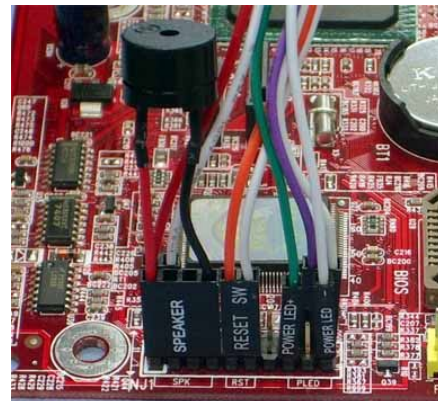
フロントパネルに装備されているスイッチ・LEDに接続されているコネクタの説明を行います。
接続先に関しては、ご利用のマザーボードマニュアルを参照して下さい。

●パワーLEDコネクタ
＋：緑
－：白

●アクセスLED
＋：赤
－：白

●パワースイッチ
極性無し

●リセットスイッチ
極性無し

●スピーカー
＋：赤
－：黒

各ケーブルをマザーボードに接続した例

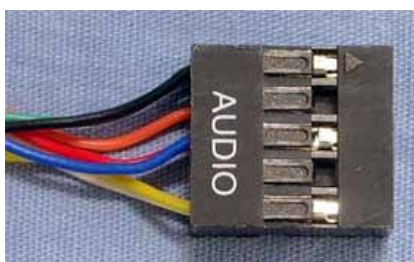
１１．フロントサイドアクセスポートに関して

本製品のフロントサイドパネルにはUSBポート×4、ヘッドフォン端子、マイク端子が装備されております。

【注意】★接続の際にはマザーボード付属のマニュアルを確認して接続して下さい。また、ボード上に接続端子が無い場合はアクセスポートが使用できません。
★USBコネクタはIntel仕様となっています。その他の仕様のピンヘッダーで、端子順などが異なっていますと、接続すると故障する場合があります。下の表を参照し確認後に接続してください。

●USBコネクタ
マザーボードのピンヘッダーに接続します。
このケーブルは2本、4ポート分あります。

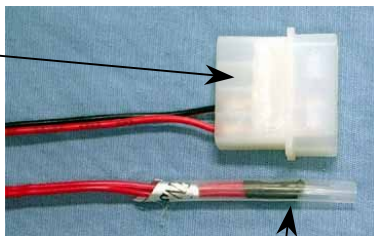
USBピンヘッダーの呼称例

本製品の線の色	内容	呼称例
赤	電源ライン	VCC*、PWR、POWER
白	データー	USB*－、D-、DATA-、LDM*
緑	データ＋	USB*＋、D+、DATA+、LDP*
黒	グランド	GROUND、GND、COMMN

●オーディオコネクタ
マザーボードのオーディオピンヘッダーに接続します。
（Intel仕様オーディオピンヘッダー用）

１２．温度計及び温度センサに関して

本製品のフロントパネルには温度表示LEDが装備されております。センサを測定したい位置に固定し、電源を接続することで温度を表示します。

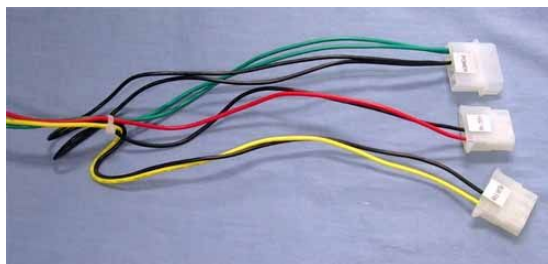
【注意】★表示される温度は目安としてご利用願います。表示温度の精度を保証するものではありません。
★CPUクーラーなど放熱器にテープなどで固定しますと、通風が妨害され過熱事故を招く恐れがあります。センサの固定位置にはパソコンの機能を害さない場所を選んで、設置してください。
★センサ部は繊細な構造をしています、このため応力・衝撃・圧力などを加えますと破損します。このような取扱いによる故障や破損は保証の対象外です。

センサ部電源用
4P ペリフェラルコネクタ
電源ユニットに接続します。

センサ部
※センサ部には力が加わらないように、固定してください。
※熱や振動では剥れない種類のテープなどで固定してください。

１３．ファン回転コントロールに関して

本製品には、電圧を調整することでファンの回転をコントロールする機能が装備されています。ファンに4Pペリフェラルコネクタが付いている場合のみ接続可能です。3Pミニコネクタ（センサ付き）など、4Pペリフェラル以外での使用はできませんので、この場合は直接マザーボードなどに接続してください。

【注意】★このコントロール機能を最初に使用されるときは、最高回転数（時計方向に回し最高にする）で使用してください。その後の各部品の温度を確認しながら回転を順次下げてください。
★回転コントロールは可変抵抗器でファンに供給する電圧を調整しています。ファンの内部抵抗値や構造によりコントロールツマミを低回転側に（時計と反対方向）回すと、回転が止まってしまう場合があります。この様なファンをお使いの場合、回転コントロール機能は使用しないで下さい。
また逆に回転があまり下がらない場合もありますが、この場合の使用は問題ありません。
★ファンを低回転にして通風量を減らした時は、内部の各部品の温度に細心の注意をしてください。通風量を減らした事を原因とする、過熱による故障などは保証の対象外となります。

正面のファンコントロールツマミ
右回り（時計方向）に回すことで
高回転になります

ファンコントロールコネクター式

リアファンへ
接続します。

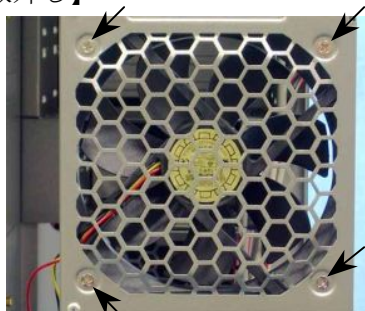
フロントファンへ
接続します。

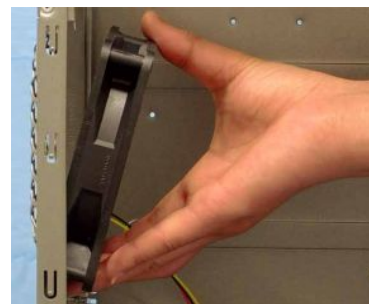
電源ユニットへ
接続します。

１４．ファンの交換に関して

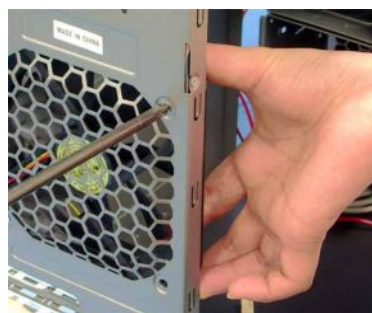
本製品には背面に12cm排気ファンが装備されております。ここでは背面ファンの交換方法を説明致します。更に本製品はフロント吸気ファンの増設が可能です。フロントパネルとHDDブラケットを外した後、背面排気ファンの交換方法に準じて増設を実施してください。

【注意】★自作パソコンの温度管理はお客様の責任です。CPUや各種部品の発熱が多い場合は、増設や強力なファンに交換するなどの対応が必要です。冷却能力を超えた過熱による故障などは保証の対象外です。
★全てのファンの適合を保証するものではありません。寸法・電圧・極性・コネクタなどの適合をご確認の上お求め下さい。
★雑音や故障の原因となりますのでファンの中心部を押したり、羽を指で回したりしないで下さい。
★冷却性能を保つため定期的にファンのメンテナンスを実施して下さい。（ホコリ除去等）

【取外し】

①4カ所のタッピングネジを確認します。

②＋ドライバーでタッピングネジを取外します。

③最後のネジを外す場合はファンを押さえながら外します。

【取付け】

①ファンの向きを確認します。

②ファンを手で保持しながらタッピングネジで仮固定します。

③対角線上の順番でネジを締めます。

１５．電源ユニットの取付け

本製品には電源が搭載されていません。別途お客様がATX規格の電源ユニットをご購入する必要があります。電源の不具合やメンテナンスのために電源ユニットを交換する場合も下記の手順に準じて実施してください。

①電源ケーブル類をひとまとめにして他のパーツに注意しながらケース内に挿入します。

②必ず電源ユニットに手を添えて電源を仮固定します。

③周囲の部品などに干渉していないか、線を挟んでいないか確認後、ネジを締め付けます。

④取付け方法と逆の手順で取外しを行います。

【注意】
★電源ユニットの作業を行う場合は、必ず電源コンセントを抜いてから作業を行って下さい。
★ケース内部には鋭い突起部分が有りますので作業には十分注意して行って下さい。

１６．パッシブダクト

　本製品はサイドパネルに、長さ可変式のパッシブダクトを装備しております。
ご利用になる、CPUクーラーの高さに合わせてダクトを調整することが可能です。
【注意】このダクトとCPUクーラーとの隙間が5～20mm位になるよう、CPUクーラーや周囲の部品に接触しないよう調整をしてください。CPUクーラーなどに接触させますと故障や異音の原因になります。

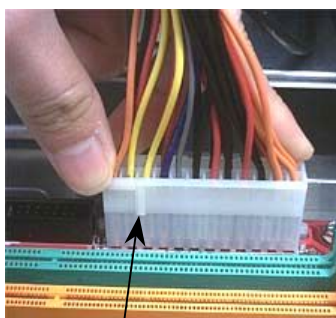
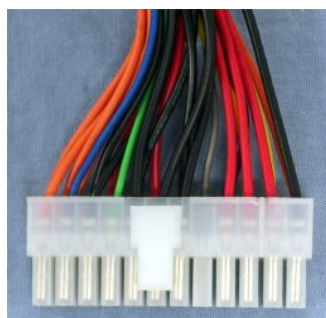
パッシブダクト外部

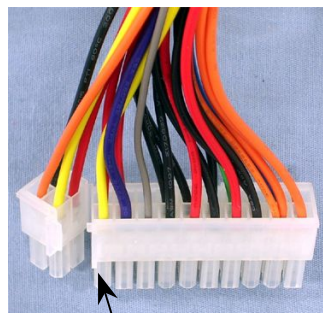
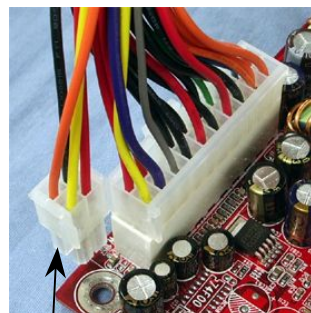
パッシブダクト内部

CPUクーラーに合わせて位置を調整します。
両手親指で押すようにすると動きます。

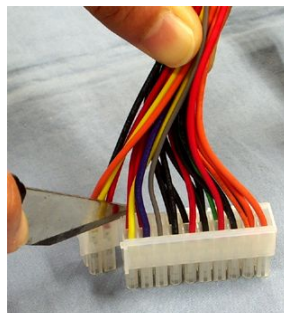
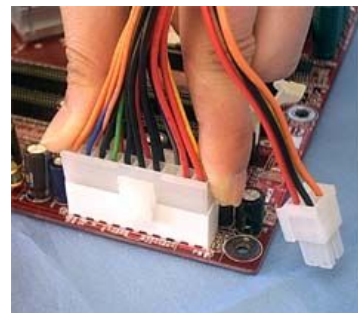
１７．電源コネクタの接続

　電源ユニットには各種電源ケーブルが有ります。所定の場所に、向きが逆にならないよう差し込みます。
ここでは弊社取り扱いの電源ユニットを用い、一般的な接続の解説をいたしますので参考にしてください。
※詳細はご使用される電源ユニットメーカーへお問い合わせいただくか、付属のマニュアルを参照願います。

【マザーボード用　20+4ピン コネクタ】
マザーボードの24ピン電源コネクタに挿入します。
20ピン部分と4ピン部分の双方を押すようにしてください。

20+4ピン結合部分

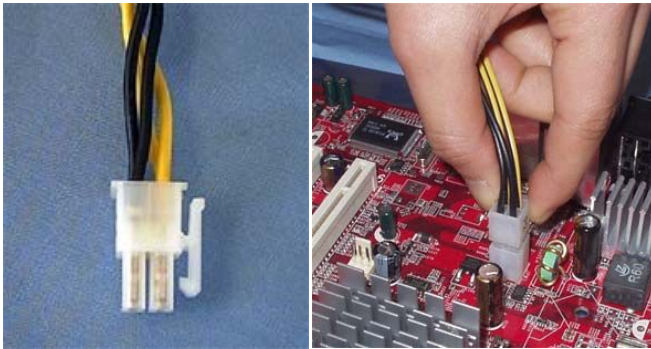
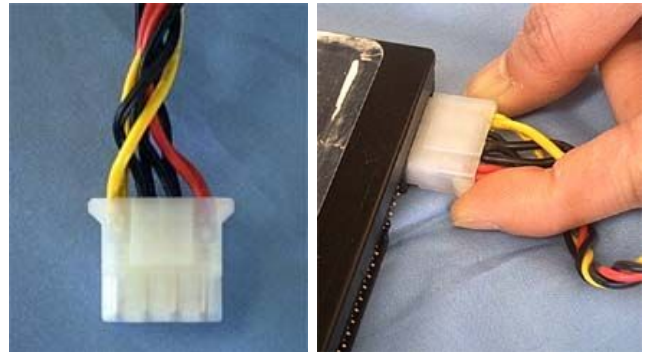
マザーボードが20ピン電源コネクタで、余る4ピン側が他の部品などに接触しない場合。
結合部分を外すと4ピン部分が開きますので、20ピン部分をマザーボードの20ピン電源コネクタに挿入します。

結合部分を外すと
4ピン側が開く。

余る4ピン側が他の部品
などに接触しない場合。

マザーボードが20ピン電源コネクタで、余る4ピン側が部品などに接触する場合。

結合部分を外し、4ピン
部分を開きます。

ナイフなどで4ピンと20ピン
の接続部分を切断します。

20ピン部分をマザーボードの20ピン
電源コネクタに挿入します。

【警告】20+4 ピンコネクタの切り離しにはナイフなどの工具が必要です。切離し作業の際、刃物で負傷しないよう手袋をするなど身体の保護を図ってください。

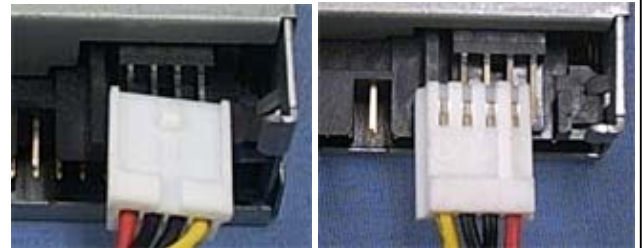
【注意】余分なコネクタ及び、切り離して使用しないコネクタは、尖った物などに中芯ピンが接触しないよう固定するか、絶縁テープなどで保護してください。

【 ATX12V 4ピン電源コネクタ】
マザーボード上の ATX12V 電源コネクタに挿入します。
※ロットにより4+4の8ピンになります。4ピンのみ使用する場合は
前項のマザー用24ピン切り離しを参考に、切離してご使用下さい。

【ペリフェラル4ピン電源コネクタ】
HDD、CD-ROM 等の電源コネクタに接続します。

【警告】各コネクタは、逆挿し（裏返し）や、ずれ挿しをしないよう注意してください。
製品によってはコネクタが逆さでも接続できてしまう場合があります。
逆挿しやずれ挿しをしますと、各機器の故障だけでなく火災の発生原因になります。

【ミニ４ピン電源コネクタ】
フロッピーディスクドライブ、USBベイ等の電源コネクタに接続します。

写真は FDDへの接続不良例です。
製品により位置や向き、形状が違います。

逆挿し（裏返し）

ずれ挿し（横ずれ）

【 S-ATA 電源コネクタ】
S-ATA HDD に接続します。

【 PCI EXPRESS 6ピン電源コネクタ】
PCI EXPRESS ボード上の 6ピン電源コネクタに挿入します。

【 ATX12V 8ピン電源コネクタ】
マザーボード上の ATX12V 8ピン電源コネクタに挿入します。
※本コネクタはロットにより付属しません。その場合4+4の8ピンを切離さずにご使用ください。

パソコンケースで困ったときは？

　パソコンケース組立て時にご不明な点が有り下記の問題点と同じ場合は、該当致します項目をご確認願います。

Ｑ：電源が入らない。
Ａ：①電源ケーブルを奥まで接続していますか？電源タップを使用している場合はタップの確認をして下さい。
　　②電源ユニットにスイッチがある場合は、スイッチの確認をして下さい。「○」がOFFで
　　　「－」がONになります。
　　③パソコン本体にあるパワースイッチコネクタをマザーボード上の正しい位置に接続していますか？

Ｑ：電源は入るが画面に映像が映らない。
Ａ：①モニターの電源を「オン」にしていますか？
　　②パソコン本体に接続するVGAケーブルを間違えた場所に接続していませんか？
　　③「ビープ」音が鳴っている場合は、周辺機器(CPU・M/B・メモリー等)に異常が発生していますので周辺機器をご確認して下さい。

Ｑ：ケースに搭載されているLEDやスイッチ類の配線方法が良く分かりません。
Ａ：各スイッチ類には極性が有りませんので、どちら向きに接続しても問題はありません。
　　LEDには極性があります。弊社の付属ケーブルでは「白又は黒」がマイナス(GND)側になります。
　　また、フロントにUSBポートが付属している場合、その付属ケーブルはマザーボード上のUSBピンヘッダーに接続して下さい。信号名はマザーボードメーカーにより名称が異なりますのでマザーボード付属のマニュアルにてご確認願います。

Ｑ：ケースに搭載されている電源を交換することは可能ですか？
Ａ：ATX規格の電源はメーカー問わず規格で統一されていますので交換をすることは可能です。
　　ただし、ATX12V Ver1.3からは-5Vの電源ラインが削除されておりますので型番の古いマザーボード等では正常に動作しない場合が有りますのでご注意ください。（ISAバス搭載M/B等）

Ｑ：マザーボードの取付け位置が合わない。
Ａ：マザーボードは背面のI/Oパネル部分を先に差込み、所定の穴位置に合わせます。ネジで固定する
　　場合は、最初の1本目から本締めすると2本目からのネジ位置が合わなくなるので全てのネジを仮止めしてから本締めを行って下さい。また、ネジは対角線上の順番で本締めをしてください。

Ｑ：FDDやHDDを固定するネジは？
Ａ：通常、FDDやCD-ROMを固定するネジはミリネジを使用します(ねじ山の間隔が狭いネジ)。
　　また、HDDを固定する場合はインチネジを使用します(ねじ山の間隔が広いネジ)。
　　＊HDDやCD-ROMにネジが付属されている場合は、その専用ネジを使用して下さい。

Ｑ：マザーボードのI/OパネルとケースのI/Oパネルの形状が異なります。
Ａ：ケースに搭載されているI/Oバックパネルは取外すことが可能です。上下ツメで固定されているので
　　上下の部分をマイナスドライバー等で軽く押し交換をして下さい。また、板金などのエッジ部分に
　　鋭い部分が有りますので交換の時は、ケガをしないよう十分注意して作業を実施して下さい。

Ｑ：PCI拡張スロット全てに拡張カードを接続してもOKですか？
Ａ：システムが不安定になる場合が多いので、AGPカードを差す下にあるPCIバスと一番下にあるPCIバスにはなるべくカードを接続しないほうが良いと思います。

Ｑ：マザーボードのFANソケットが少なくてケースに搭載されているFANを使用する事が出来ません。
Ａ：FANソケットが少ない場合は、DOS/Vパーツ専門店にて電源から供給しFANを回すことが出来る変換ケーブルが発売をされているので別途、購入し使用して下さい。弊社にて取扱いをしているFAN変換ケーブルの型番は「CBL-CL4」になります。

Ｑ：ケースに付属していた部品を紛失してしまいました。パーツを購入することは可能ですか？
Ａ：保守パーツを購入することは可能です。ただし数に限りがございますので場合によっては保守パーツを
　　購入することが出来ない場合もございますので何卒ご了承ください。（保証書の確認が必要になります）

また、ケースに関しましてご不明な点がありましたら弊社サポートセンター迄ご連絡をお願い致します。

Owltech 保 証 書

１．保証について

保証書は記載内容を確認の上、大切に保管してください。**保証期間はお買い上げ日より１年間**です。無償修理規定に従った内容で無償修理いたします。保証期間経過後の修理に関しましては有償修理となります。

＊<u>データ等の保証に関しましては、弊社では一切行っておりません。必ずバックアップ等を行ってください。</u>
＊<u>本保証書は該当製品のみの保証となります。システムと連動した場合の動作を保証する物では有りません。</u>
＊本製品は一般ユーザー向けの製品です。機器組込での再販売や業務使用での保証は一切行っておりません。その様な方法でご利用になるには予め弊社営業部までご連絡下さい。一般販売店よりご購入になり業務でご使用された場合の保証は、一般ユーザー様と同等の保証となります。
（故障修理などは販売店への持込修理となります）
＊個人売買・ネットオークション等、一次購入者以外の方のサポートは全て有償となります。
＊機能上差し支えない小傷・色艶減退、各デバイスとの共振音・微振動、転送速度、スイッチ感触及び、梱包箱の傷などは保証の対象外となります。

２．無償修理規定

正しい使用方法に従った上で装置が正常に動作しなかった場合、保証期間内と認められた場合に限り無償修理が適用されます。また、適用範囲は装置及び装置の付属品迄で、消耗品類は除きます。
保証期間内であっても次の各項に該当する場合は保証対象外又は有償修理となります。
a)使用上の誤り及び当社以外での修理、調整、改造による故障及び損傷。
b)お買い上げ後の落下、不適当な取付けなど、不当な取扱いによる故障及び損傷。
c)火災・地震・落雷・水害・その他の天災地変，公害や異常電圧による故障及び損傷。
d)故障の原因が本製品以外（ユーザーシステムなど）にあって，それを点検修理した場合。
e)本保証書のご提示が無い場合及び、購入年月日・お客様名・販売店名の記載が無い場合。
f)本保証書に記入された事項を許可無く書き換えた場合。
g)製品を使用できなかった事の対価、取外しや販売店への搬送など直接或いは間接的に発生する手間等の対価。
h)高温・高湿度環境下での使用及び、<u>ほこり</u>や<u>ごみ</u>の付着・虫などの侵入を原因とする故障など。

型名／シリアルNo		OWL-PCOX22 シリーズ
お買い上げ年月日		年　月　日
保　証　期　間		お買い上げ日より１年間
保　証　対　象		本　体　及び　付属品
お客様	ご　氏　名	
	ご　住　所 電話番号	〒　－ 住所： TEL：　－　－
販売店		印

・万一、保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い求めの販売店に修理をご依頼下さい。
・本保証書に販売店名、捺印が無い場合はご購入時のレシートで代用可能ですので保証書とレシートは大切に保管して下さい。
・本保証書は、日本国内においてのみ有効です。　This warranty is a valid only in Japan.

株式会社オウルテック
〒243-0422　神奈川県海老名市中新田５丁目24番１号
サポートセンター電話：046-236-3522　FAX：046-236-3521
サポート時間：10:00 ～ 12:00･13:00 ～ 18:00（土･日･祝祭日を除く）
ホームページ：http://www.owltech.co.jp

OWL-PCOX22 Rev.1